

経済・金融
フラッシュ雇用関連統計 24 年 9 月－女性の就
業者数(季節調整値)が過去最高を更新、
雇用の正規化も進む

経済研究部 経済調査部長 斎藤 太郎

TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

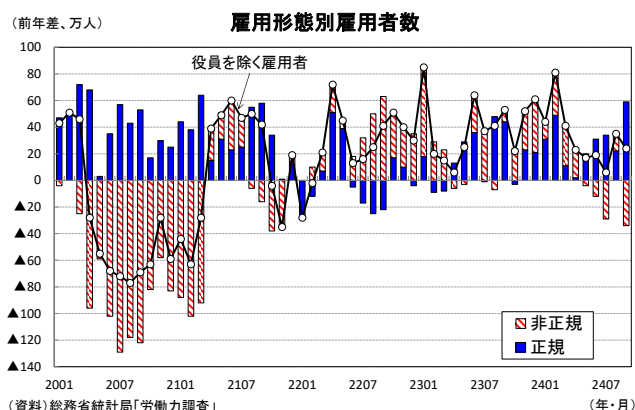
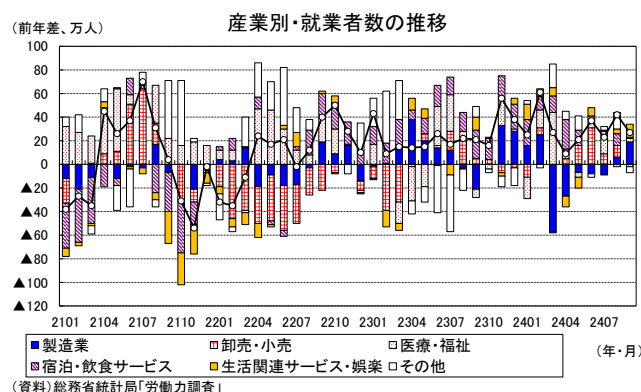
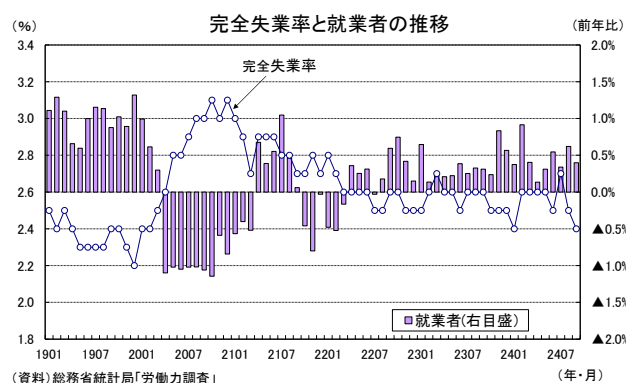
1. 失業率は前月から 0.1 ポイント低下の 2.4%

総務省が 10 月 29 日に公表した労働力調査によると、24 年 9 月の完全失業率は前月から 0.1 ポイント低下の 2.4% (QUICK 集計・事前予想: 2.5%、当社予想は 2.6%) となった。

労働力人口が前月から 12 万人の減少となる中、就業者が前月から 9 万人減少し、失業者は前月から 4 万人減少の 168 万人 (いずれも季節調整値) となった。

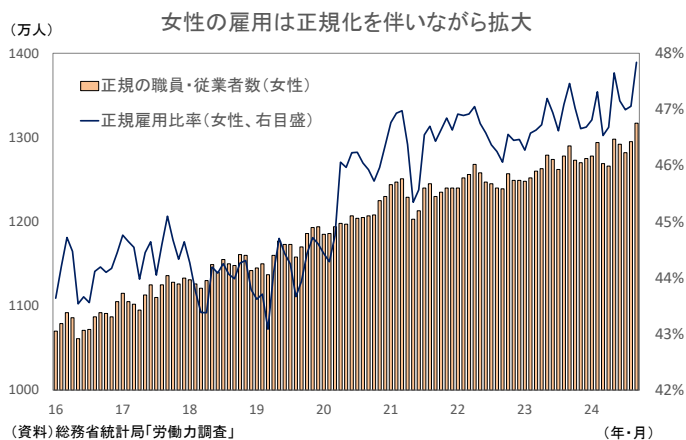
就業者数は前年差 27 万人増 (8 月: 同 42 万人増) と 26 ヶ月連続で増加したが、前月から増加幅が縮小した。男女別には、女性は前年差 43 万人増と 31 ヶ月連続で増加したが、男性が前年差 16 万人減と 4 ヶ月ぶりに減少した。女性の就業者数は (季節調整値) 前月から 2 万人増の 3094 万人となり、2 ヶ月連続で過去最高を更新した。

産業別には、製造業が前年差 19 万人増 (8 月: 同 6 万人増)、生活関連サービス・娯楽業が前年差 11 万人増 (8 月: 同 4 万人増) と 2 ヶ月連続で増加したほか、宿泊・飲食サービス業が前年差 1 万人増 (8 月: 同 10 万人増) と 27 ヶ月連続で増加したが、卸売・小売業が前年差 2 万人減 (8 月: 同 10 万人増) と 6 ヶ月ぶりに減少した。



雇用者数（役員を除く）は前年に比べ 24 万人増（8 月：同 35 万人増）と 31 ヶ月連続で増加した。雇用形態別にみると、正規の職員・従業員数が前年差 59 万人増（8 月：22 万人増）と 11 ヶ連続で増加したが、非正規の職員・従業員数が前年差 34 万人減（8 月：同 13 万人増）と 2 ヶ月ぶりに減少した。

季節調整値では、女性の正規の職員・従業員数が 1317 万人と過去最高を更新し、正規雇用比率（役員を除く雇用者数に占める正規の職員・従業員数の割合）は 47.8%と前月から 0.6 ポイント上昇した。高齢化の影響で男性の雇用は伸び悩んでいるが、女性の雇用は正規化を伴いながら順調に拡大している。



2. 有効求人倍率は一進一退

厚生労働省が 10 月 29 日に公表した一般職業紹介状況によると、24 年 9 月の有効求人倍率は前月から 0.01 ポイント上昇の 1.24 倍(QUICK 集計・事前予想：1.23 倍、当社予想は 1.24 倍)となった。有効求人数が前月比 0.1%と 4 ヶ月ぶりに増加する一方、有効求職者数が同▲0.1%と 3 ヶ月連続で減少した。

有効求人倍率の先行指標である新規求人倍率は前月から 0.10 ポイント低下の 2.22 倍となった。新規求人数が前月比 0.6%と 2 ヶ月連続で増加したが、新規求職申込件数が同 5.3%の大幅増加となったことが新規求人倍率の低下につながった。

新規求人数は前年比▲5.9%(8 月：同▲6.5%)と 2 ヶ月連続で減少した。産業別には、情報通信業（前年比 8.9%）は 3 ヶ月連続で増加したが、建設業（同▲7.4%）、製造業（同▲9.1%）、生活関連サービス・娯楽業（同▲13.3%）などは大幅な減少が続いている。

